

ため池百選

～ため池百選の選定～
～ため池百選を活用した広報～

農村振興局整備部防災課

平成22年3月

農林水産省

1. これまでの経緯等

(1) 委員会、応募、一次選定、一般投票等の経緯

第1回 選定委員会

企画の背景、選定の考え方の検討

第2回 選定委員会

募集等の実施方法の検討

百選候補を全国から募集

620地区の応募

第3回 選定委員会

百選候補287地区の選定(投票対象の決定)

一般からの投票、委員による評価を実施

第4回 選定委員会

百選の選定

百選の公表

ため池百選を活用した広報活動

スケジュール

平成21年 1月 8日

平成21年 3月 5日

〔 募集期間
平成21年4月20日～7月10日 〕

平成21年11月20日

〔 投票期間
平成22年1月8日～2月8日 〕

平成22年3月11日

(2)新聞、ホームページ等への掲載状況(一般投票)

紙面報道

- ・全国紙(地方版を含む) → 5紙
- ・地方紙 → 49紙

ホームページ

- ・新聞社のホームページ → 38社
- ・都道府県・市町村のホームページ → 32道府県
- ・その他ホームページ
水土里ネット、日本商工会議所、EICネット等

広報誌

- ・都道府県・市町村等
- ・その他広報誌
新田舎人、全国水土里ネット情報等

掲載内容

- ため池百選の意義
- ため池の
役割・歴史・魅力
- 地元のため池の紹介
- 一般投票への
呼びかけ

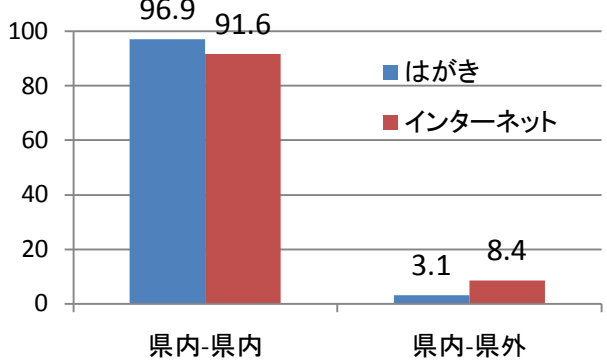
2. ため池百選の投票状況

(1) 投票数

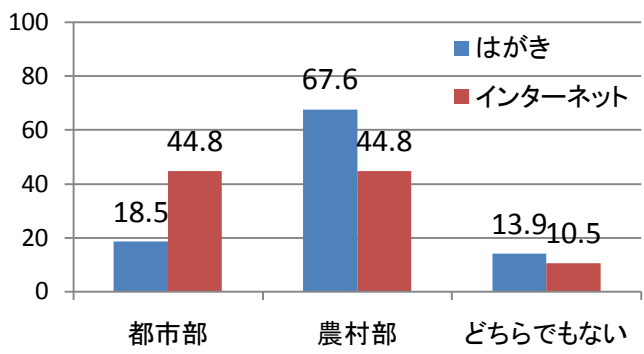
- ・総投票数 : 約73,000票
- インターネット : 約30,000票
- はがき : 約44,000票

(2) 投票者の状況

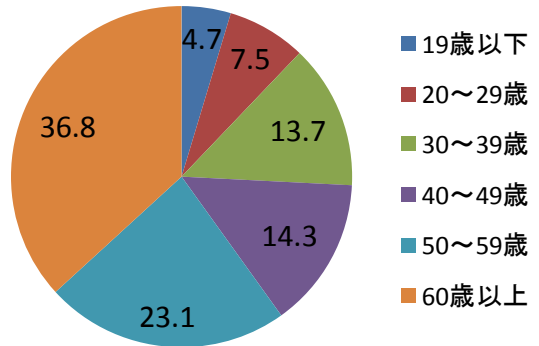
投票したため池と在住地



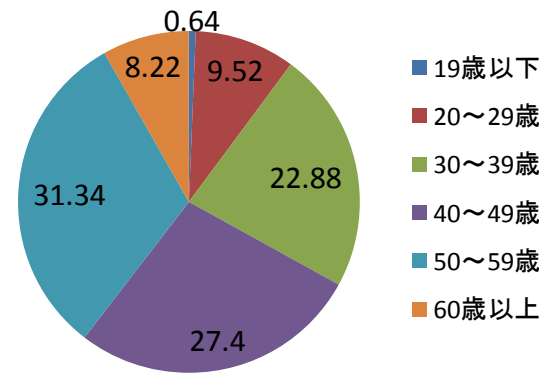
投票者の住まい



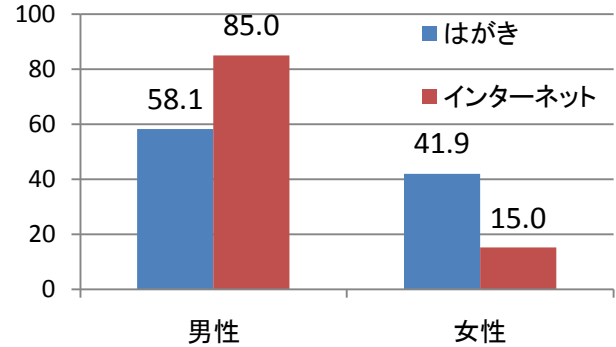
投票者の年代内訳(はがき)



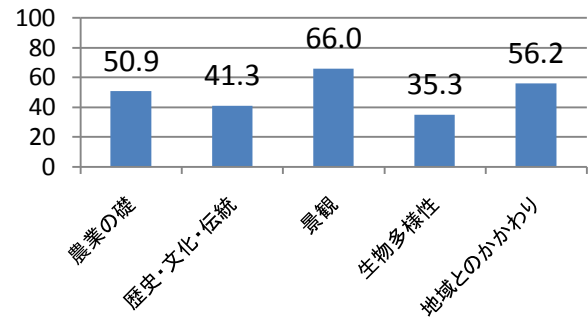
投票者の年代内訳(インターネット)



投票者の性別



5つの視点



(※数字は%)

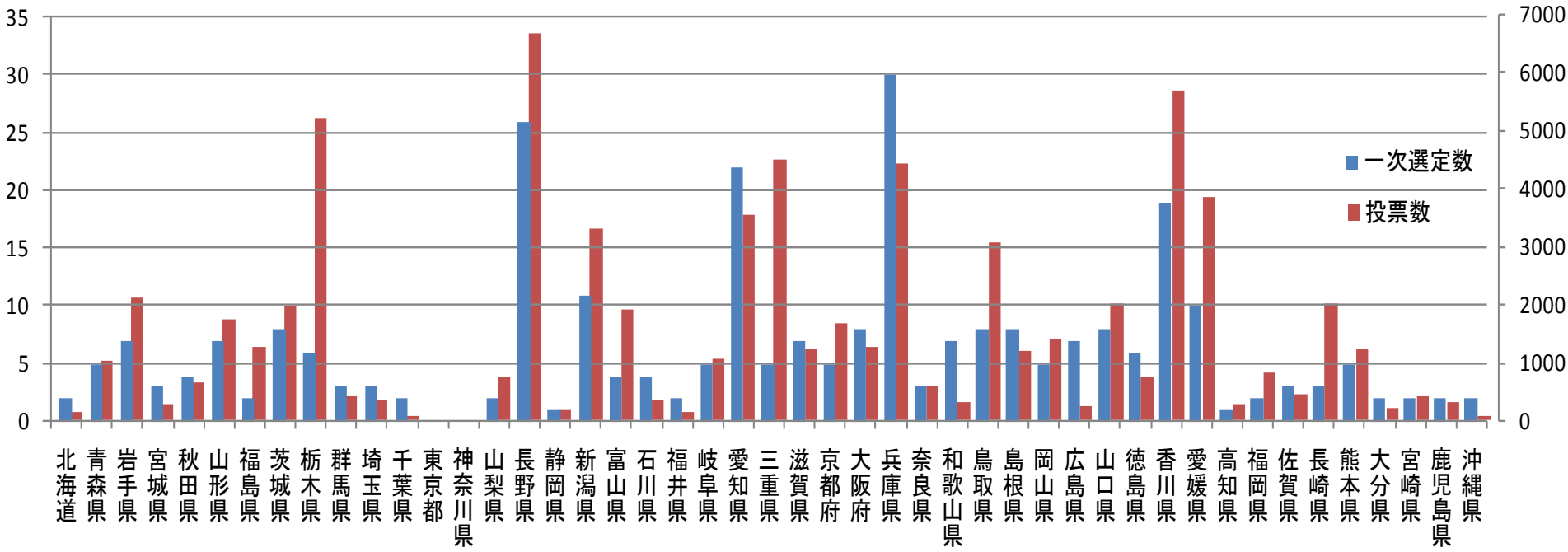
(3) 投票者のコメント(例)

住まい	住まい区分	コメント	性別	年代
大阪府	都市部	桜の季節に息子に連れて行ってもらいました。ため池とは思えない素晴らしいところでした。	女性	70歳以上
東京都	都市部	小さい頃、池の近くで遊んだ気持が忘れられない	男性	40～49歳
栃木県	都市部	都市に住んでいて、上記のため池保護の大切さを痛感しています。	女性	60～69歳
富山県	都市部	出来て、まだ新しいということもあってか、綺麗だった。自然も豊かでデートとしてもたのしめた。自然に癒されました。心が落ち着く場所でした。	女性	20～29歳
大阪府	農村部	整備がゆき届いていて、地域の皆さんと共に作り上げている感じがとても大好きで投票しました。	男性	20～29歳
長野県	農村部	海拔1000mの高地に水源を求め、稲作を可能とした先祖達の偉業に感じ。今や北アルプスを正面に望み、ゆったりと水をたたえ景観上の役目も備えている。	女性	70歳以上
三重県	どちらでもない	地域の方がとても大切に保全されていること、地域の子供たちに地域本来の自然の素晴らしさを楽しみながら(池干し)伝えていること	女性	30～39歳
群馬県	農村部	水は農民の生命、当時の人々の苦労をいつまでもたたえたいから。		60～69歳
長野県	農村部	子供が、「水辺に生息する生物」について、教わってきました。次の世代にも、また、その先にも残してきたいので。自分が若い頃、「雨が少ない地域だから。」と教わった事も、長く伝えていきたい。	女性	40～49歳
長野県	農村部	転居してきたところに、こんな良い池があり、うれしい。	女性	40～49歳
茨城県	農村部	豊かな景観。散歩していると厳しい世論の心境を打ち消すような安堵感、明日への活力を養った気分、元気をもらい帰路につく。	男性	60～69歳
茨城県	農村部	すばらしい景観により、見る住民が全て優しい気持ちになれる素敵のため池です。	女性	40～49歳

(4) 都道府県別の一次選定数(287地区)と投票数

一次選定数

投票数



3. ため池百選(案)について

(1) 選定の考え方

以下の選定の考え方により、ため池百選を選定することを提案。

①委員の評価と一般投票の結果が共に上位100位以内にある地区は「ため池百選」地区として選定 → ○○地区

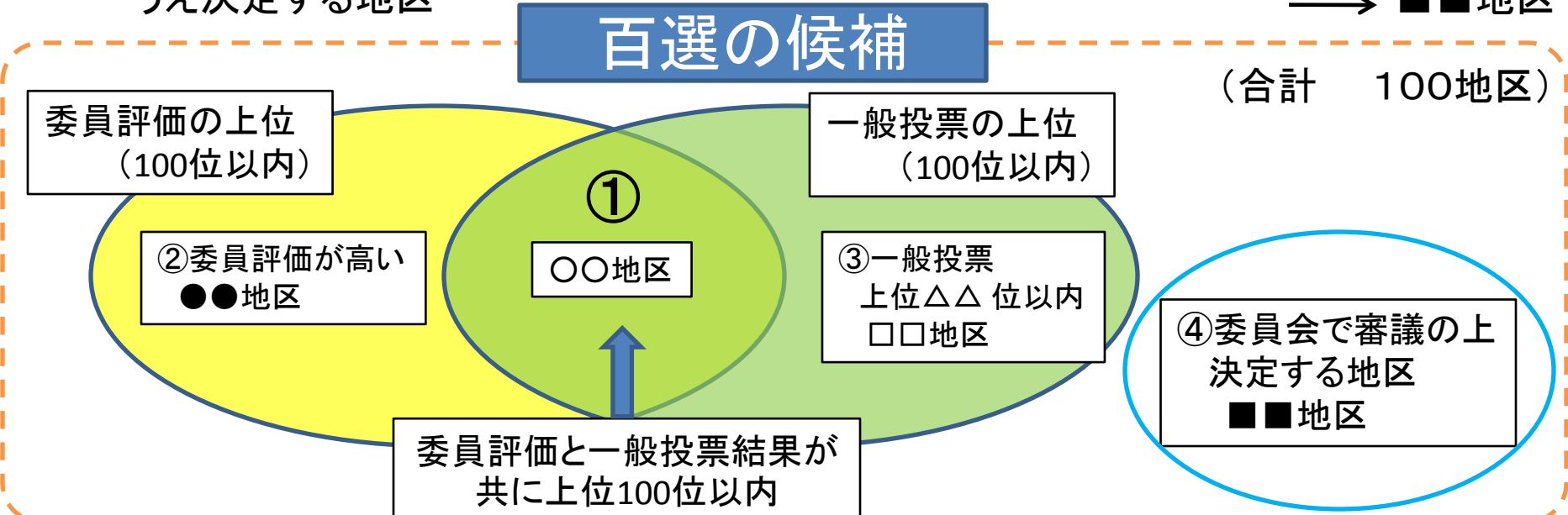
②委員の評価が高い地区を選定(①との重複を除く) → ●●地区

③一般投票の上位△△位以内の地区を選定(①及び②との重複を除く) → □□地区

(小計 ▲▲地区)

④上記以外で、その内容から百選にふさわしいとして委員会で審議のうえ決定する地区 → ■■地区

(合計 100地区)



(4)百選(案)の代表例(5つの視点)

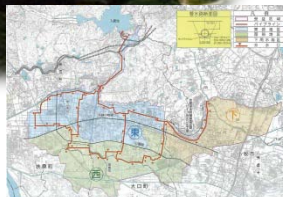
【農業の礎】

大規模な農業地帯の水源

入鹿池【愛知県】

入鹿池は、蘇我入鹿の領地であったと言われる地域に造られた日本第二位の貯水量を持つため池です。

尾張藩主徳川義直公により1663年に造られて以来、都市近郊の穀倉地帯である尾張平野等北部の広大な水田1,300haを潤し続けています。



入鹿池用水系統図

産地形成の礎

神之湊池【岡山県】

神之湊池は、棚田百選に選定されている「北庄」地区の水田45haを潤しています。

この棚田で栽培されている有機農業米「棚田米」は、ブランド米として人気を得ています。



新田開発への貢献

千貫石ため池【岩手県】

伊達政宗が藩内巡視で、この地を開田適地にみたてたことに端を発し、江戸時代・元禄期に仙台藩によって「大堤」が築られました。

その後、改修や築堤を重ねて現在の千貫石ため池が造られ、金ヶ崎町・北上市の広大な穀倉地帯を潤しています。



(4)百選(案)の代表例(5つの視点)

【歴史・文化・伝統】

苦勞した築造の歴史

淡海湖【滋賀県】

淡海湖は、人里離れた山中にある湖面12ha、貯水量132万トンの大規模なため池で、その水は、大正時代に掘られた1.2kmの隧道によって別水系の溪谷から引かれています。

この工事は、耕地整理組合長を務めていた松本家(造り酒屋)が親子2代にわたって行いましたが、4箇所崩落が起こるなど工事は困難を極め、完成を見るまでに2人とも心労により他界しています。



ため池にまつわる伝説

塩田平のため池群【長野県】

塩田平は全国有数の寡雨地域で、江戸時代から数多くのため池が造られてきています。

この地域にはため池にまつわる民話が数多く残されており、「舌喰池」という池には、次のような悲しい話が伝えられています。

「昔、池が造られた頃、土手から水が漏れて十分に水をためることが出来なかったため、土手に「人柱」を入れて改修することになり、くじ引きで美しい娘が「人柱」に選ばれました。



しかし、身の不運を嘆いた娘は、当日前夜に舌を喰いきり、池に身を投げて死んでしまいました。」

ため池にまつわる伝統行事

徳良池【山形県】

徳良池は、第一次世界大戦時の米価急騰に伴う開田事業に併せて大正10年に築かれました。

有名な「花笠踊り」は、この池を築堤した時の「土搗き唄」から生まれたものです。土搗きの作業班は地域毎に作られたため、「花笠踊り」も地域ごとに生まれ、現在も五流派の保存会があります。

春と秋の徳良祭りでは、当時の土搗き作業が再現されています。



(4)百選(案)の代表例(5つの視点)

【景観】

自然景観との調和

廻堰大溜池【青森県】

廻堰大溜池は壮大な岩木山の姿を映すさまが美しく、「津軽富士見湖」の愛称があります。樹齢150年以上の青森ヒバを用いた「鶴の舞橋」(全長300m)とともに、四季折々の美しさを湖面に映す景色は、一幅の絵のようです。

また、池の周囲は11kmあり、特に堤は延長4.2kmと日本一の長さを誇ります。



農村風景との調和

赤祖父ため池【富山県】

赤祖父ため池は、日本の稲作文化を代表する農村風景、砺波平野の散居村の眺望と豊かな自然に囲まれた美しい景観を持つため池です。

ブナの原生林を水源とし満々と水を湛えた池は、砺波平野413haの水田を潤し、優良な稲作地帯の農業経営を支えています。



堤体等の美しさ

豊稔池【香川県】

豊稔池の堤体は、大正時代、工学博士の佐野藤次郎氏の指導のもとにマルチプルアーチ構造を採用して築かれ、中世ヨーロッパの古城を偲ばせる偉容と風格を漂わせています。

景観的にも学術的にも斬新な設計となっており、特に洪水吐は、貯水が堰堤頂天に近づくと自動的に勢いよく放流するサイフォン式が導入されています。



(4)百選(案)の代表例(5つの視点)

【生物多様性】

渡り鳥の飛来地

鴨池【石川県】

鴨池は、国指定天然記念物「マガン」「ヒシクイ」「オジロワシ」が飛来する、石川県有数の野鳥の越冬地で、平成5年にはラムサール条約湿地として登録されています。

野鳥の餌場が年々減る中で、「鴨池周辺地域資源保全会」では、地元農家の協力を得て冬期湛水による餌場を提供しています。また、鴨池観察館での生態系勉強会など自然との共存について理解を深める取り組みも盛んです。



希少な生物の生息地

長倉池【兵庫県】

長倉池は近畿地方におけるミズトラオの代表的な群生地であり、カスミサンショウオ、ニホンアカガエル、ヒメナエ、ゴマクサなどの貴重な動植物も生息し、農業高校等の環境研究活動の拠点としても利用されています。

また、コハクチョウの越冬南限の地であり、稲作終了後の池干しが終わり、水が溜まり始めると、付近の池で越冬していたコハクチョウが飛来し、北帰行までの集結地となります。



生態系ネットワークの要

久保川流域ため池群【岩手県】

久保川流域の山あいには数多くのため池が点在し、周囲の棚田や雑木林と一体となって素晴らしい里山景観を呈しています。

ため池群では、多くの絶滅危惧種を含む豊かな水生生物相がみられ、全国的にも稀有となった淡水系ネットワークが良好に維持されており、多様な主体が参画する「久保川イーハトーブ自然再生協議会」により、生態系調査や侵略的外来種の排除など様々な保全活動が行われています。



(4)百選(案)の代表例(5つの視点)

【地域とのかかわり】

地域住民等の保全活動

いなみ野ため池ミュージアム 【兵庫県】

いなみ野ため池ミュージアムは、東播磨の数百のため池1つ1つを展示物に見立て、各地域の「ため池協議会」がため池の保全やため池を核とした地域づくりに積極的に取り組んでいます。

各ため池では、水辺空間の楽しさに触れるイベント、地域づくりを考えるフォーラム、清掃や水質浄化など次世代に「ため池文化」を引き継いでいくための活動が盛んです。



子供たちの学習の場

池ノ内湖 【佐賀県】

池ノ内湖では、地元農業者を中心に、湖畔の宿泊施設、地元高校、保育園、水環境団体や行政が参加して、保全のための総合的な水管理が行われています。

特に、武雄高校科学部による魚類相変化の調査や特定外来生物の排除活動が行われ、その内容は全国的に高い評価を得ています。



都市農村交流の場

藤沼湖 【福島県】

藤沼湖は春は桜、夏はヤマユリなど季節の花々が咲き、秋には紅葉が湖面を美しく染めます。温泉・コテージ・オートキャンプ場等の施設も充実し、年間10万人の観光客が訪れています。

「高土山山開き」「桜まつり」「藤沼湖畔マラソン大会」なども開催され、この地域の活性化に大きく役立っています。



4. ため池百選を活用した広報

○百選に加えて一次選定をクリアした287箇所のため池をカバーした広報

- ・広報用のホームページを農林水産省において常時掲載（一般投票用のサイトを活用し、ポータルサイトとして引き続き活用。イベント開催等の情報を随時発信するため池毎のサイトの充実を呼びかけた上でネットワーク化。）
- ・紙媒体の広報用資料（冊子、パンフレット、ため池百選カレンダー等）の作成・配布
- ・マスメディア機関等との積極的な連携

○ため池関連の各種イベントとの連携

- ・ため池フォーラム（2010.10）におけるため池百選の報告・PR（パネル展示等）
- ・その他イベント（水土里フォーラム、各種シンポジウム等）を活用した紹介等

○選定ため池の地元による広報活動の促進

- ・市町村、都道府県等のホームページ、広報誌掲載の呼びかけ（ポータルサイトとリンク）
- ・ため池保全・利用の促進に向けた地域活動の契機（百選ため池の環境学習、地域ぐるみの保全体制等の事例・ポイントを別途整理し、各地のため池にフィードバック。）

⇒ 地域コミュニティによるため池保全・利用の取組を促進

(2)パンフレット等の活用

百選に選定されたため池を対象に「パンフレット」を作成しホームページを通じて配布。

(希望者には印刷物を配布)

希望者にパンフレットを配布することにより、今までため池を全く知らなかった都市圏在住者へ関心を持ってもらうきっかけとなり得る。

携帯型のパンフレットにすることで、持ち歩きを誘引し、各地のため池へのリアルな誘導を促進する。



疎水百選パンフレット



百選カレンダー(イメージ)



携帯型パンフレット事例(疎水百選)

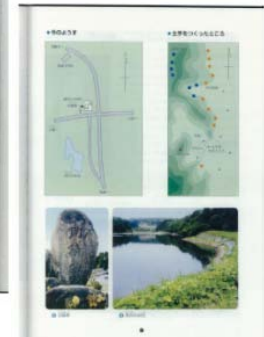
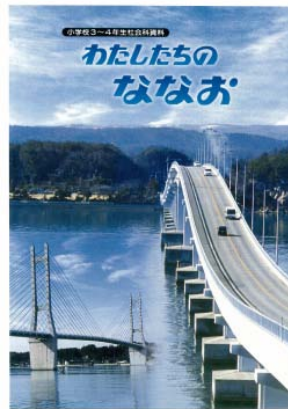
(3) イベント等の活用

首都圏イベント水土里フォーラム等で「ため池百選」の展示やコーナーの設営を行い、大きな広報効果を期待できる



疎水百選イベント開催時の様子

地元の小学校等の教材に取り上げてもらふことにより郷土愛を醸成、地元の誇りとなるため池として認識されるようになることが期待される。



小学校社会科教材に取り上げられた事例(石川県七尾市)